

厚生労働省
令和7年度

子育て世代の医療職支援事業 実施報告書

Medical Professions'
Universal Support and
Career Development with
Active Teamwork



広島大学病院
女性医師支援センター

厚生労働省
令和7年度

子育て世代の医療職支援事業
実施報告書

Medical Professions'
Universal Support and
Career Development with
Active Teamwork



広島大学病院
女性医師支援センター

厚生労働省
令和7年度

子育て世代の医療職支援事業 実施報告書

目次 CONTENTS

はじめに

令和7年度 活動報告

1 広島大学病院の現状について	06
2 令和7年度 女性医療職等のキャリア支援事業実施計画	08
3 活動実績	12
1. 職場の理解にかかる取り組み	13
(I) 地域の医療機関、関係団体等との連携体制の構築	13
(II) センター運営会議	17
(III) 広島県女性医師支援総合会議	20
2. 相談窓口等にかかる取り組み	23
3. 勤務体制、診療体制にかかる取り組み	25
4. 保育にかかる取り組み	26
5. 復職支援にかかる取り組み	31
6. 効果的支援策の普及活動の実績	32
(I) キャリア継続・復職・保育に関する支援	32
(II) 活躍支援	33
(III) 支援情報の周知、支援ニーズの把握	33
4 本事業からの今後の支援策	34
5 外部評価	35

はじめに

広島大学病院は平成 29 年 4 月に女性医師支援センターを設置いたしました。2025 年の第 119 回医師国家試験合格者における女性の割合は過去最高となり、約 36.2%でした。医学部入学者では 40%を超えていますので、今後も女性の比率が徐々に増えていくことが予想されます。

一方、女性医師は、結婚・妊娠・出産・育児・介護など、さまざまなライフイベントにより勤務環境が変化することが多く、医師としてのキャリアを無理なく継続していくためには、きめ細かな支援が不可欠です。広島県唯一の医育機関として、女性医師が切れ目なく働き続けられる環境を整備することは、医師不足が懸念される広島県にとって極めて重要な課題であると考えています。

広島大学病院女性医師支援センターでは、①働きやすく効率のよい職場環境の整備、②働き続けられる職場づくり、③離職後も復帰しやすい職場環境の構築、④女性医師のキャリア継続支援、を目的として、仕事と家庭の両立を支援するさまざまな取り組みを行っています。また、ホームページを通じて情報発信を行い、個々の状況に応じた支援事業のさらなる充実を図ってまいります。

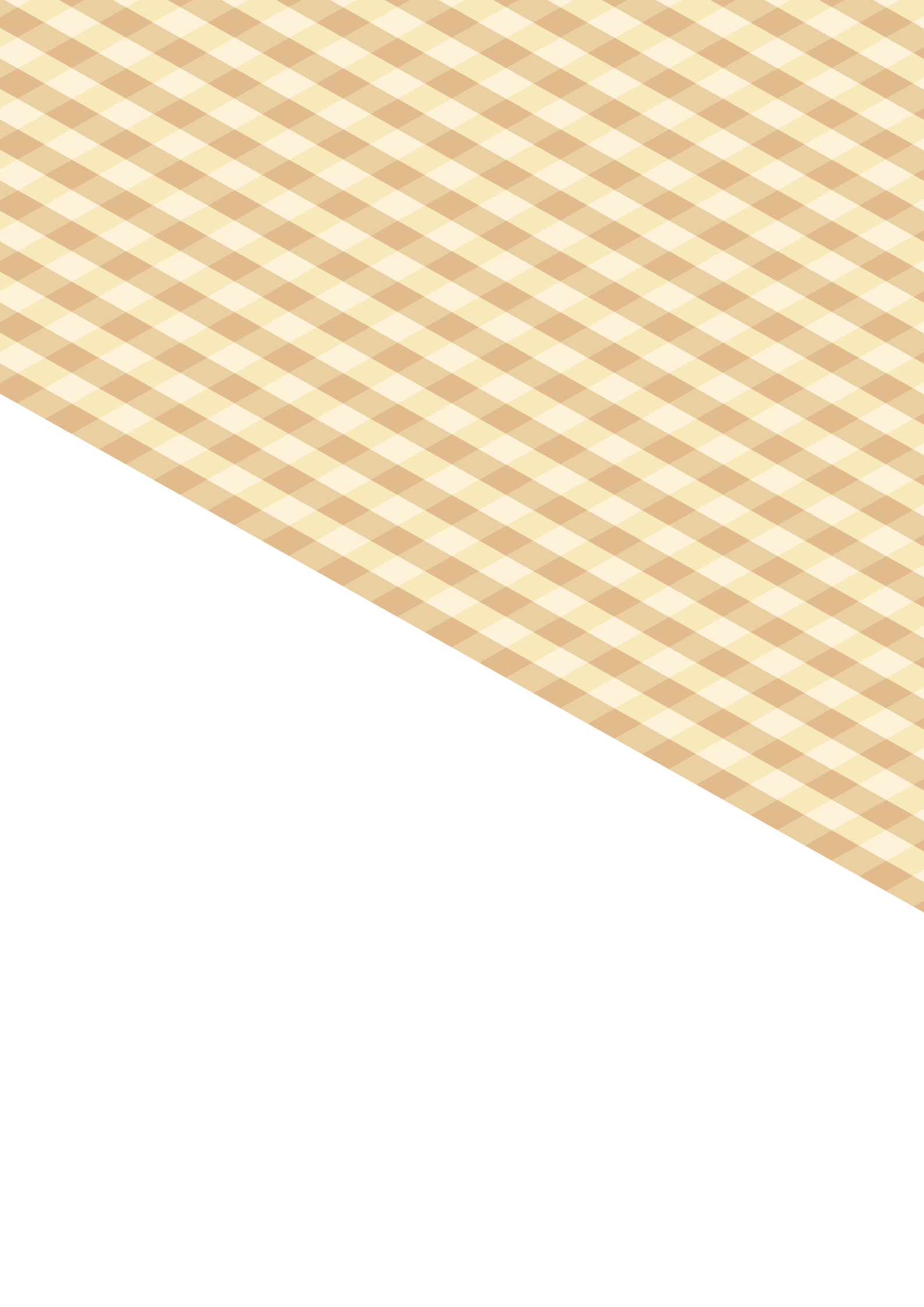
センター設置以降、厚生労働省の支援事業に毎年申請し、継続して採択されております。令和 7 年度も「子育て世代の医療職支援事業」に採択され、これまでの活動を継続するとともに、新たな試みにも取り組んでまいりました。これらの活動は、長年にわたりキャリアを継続してこられた女性医師をはじめ、女性医師の割合が高い診療科の医局長、ならびに事務職員の多大なるご協力のもとに実施され、本報告書としてまとめることができました。さらに、外部評価委員の皆様からは、当センターの活動に対する適切な評価と、今後の運営に向けた貴重なご意見を賜りました。

本報告書には、本年度の活動を振り返った課題や反省点を記載しております。これらを今後の改善の基盤とし、より持続可能で発展的な支援事業の構築を目指してまいります。ひとりでも多くの女性医師がキャリアを継続し、医師としての職務を最大限に果たすことができるよう、女性医師支援センター職員一同、今後も一層努力してまいります。

引き続き、皆様のご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和 8 年 3 月

広島大学病院 女性医師支援センター
センター長 堤 保 夫
(広島大学大学院医系科学研究科 教授)

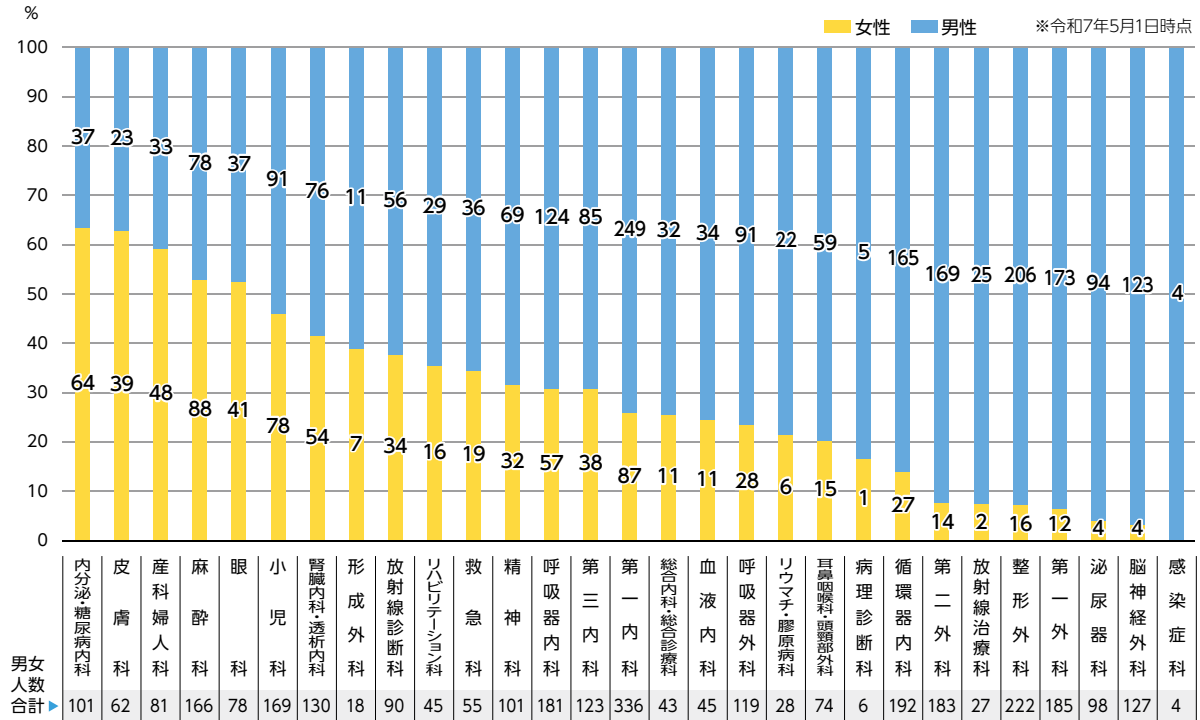


令和7年度 活動報告

令和7年度 活動報告

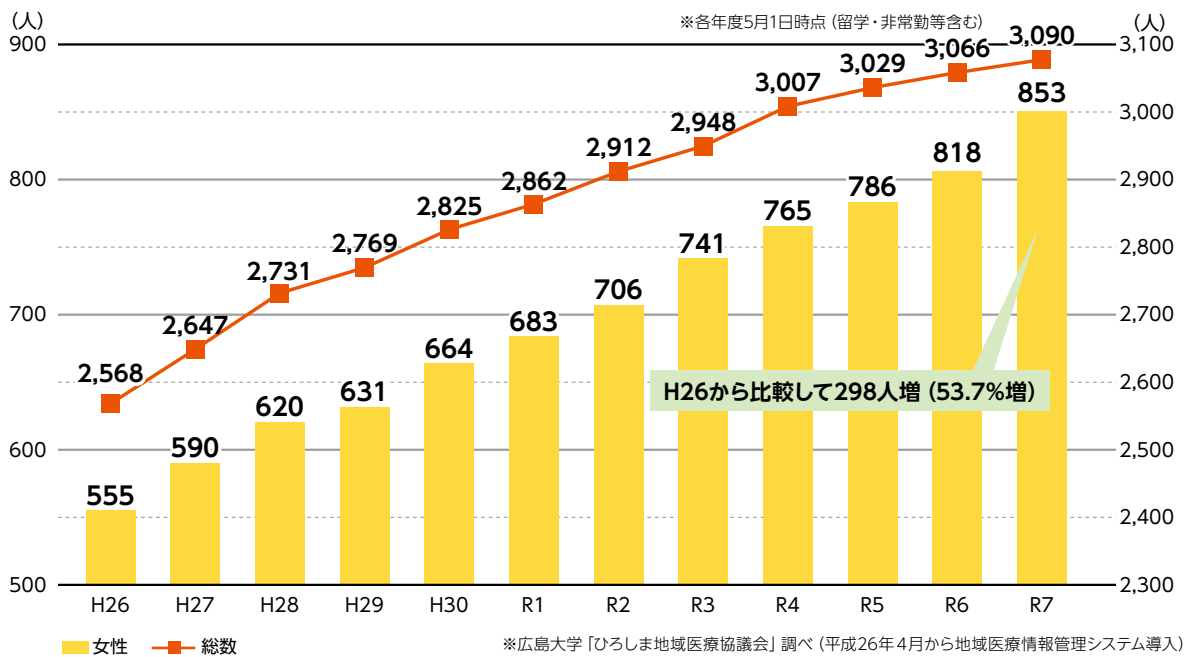
1 広島大学病院の現状について

広島大学病院の診療科別男女割合（関連病院含む）



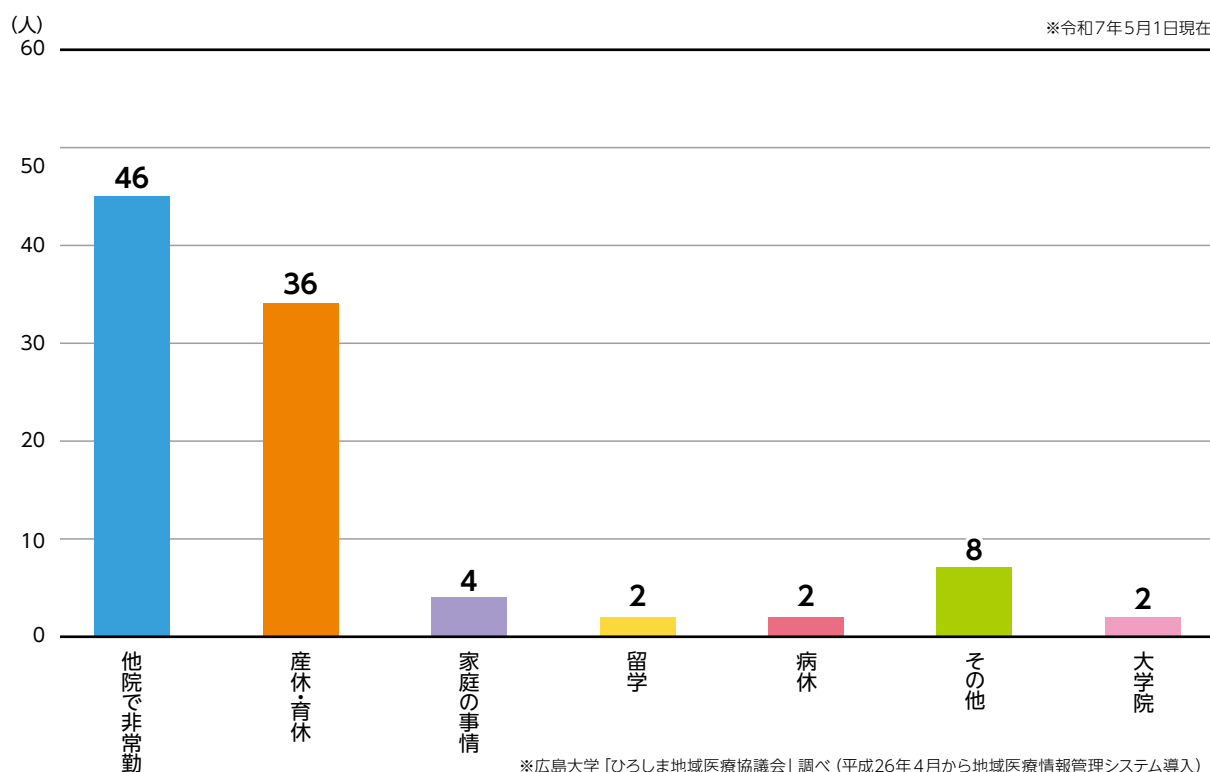
※広島大学「ひろしま地域医療協議会」調べ（平成26年4月から地域医療情報管理システム導入）

広島大学病院の年度別女性医師数推移（関連病院含む）



※広島大学「ひろしま地域医療協議会」調べ（平成26年4月から地域医療情報管理システム導入）

広島大学病院（関連病院含む）の女性医師のうち休職中の者の状況



広島大学病院女性医師支援センター設立の背景

広島大学では平成28年度まで、男女共同参画推進室が女性研究者を対象とした各種支援を実施してきた。近年、女性医師の割合が増加しているが、女性医師の中には、出産・育児等によりキャリアを中断せざるを得ない場合があり、大学病院各診療科では女性医師へのキャリア継続のための支援が重要な課題となっている。また、女性医師のキャリア継続には、ワーク・ライフ・バランスの再考と、家族のみならず同僚や職場全体の支援が重要となる。

このような状況を踏まえ、働きやすい効率のよい職場環境の整備を支援し、働き続けられる職場、離職しても復帰しやすい職場を構築し、女性医師にとって働き甲斐のある病院にしていくことを目的に、広島県内唯一の医育機関である広島大学に、「広島大学病院女性医師支援センター」（以下「センター」という。）を設置した。平成29年4月1日から広島大学病院、大学院医歯薬保健学研究科（現：大学院医系科学研究科）に属する女性医師、医学部医学科に属する女子医学生のキャリア支援を開始した。

なお、女性医師の臨床現場定着を目指した活動や臨床現場復職を目指した活動は、広島県、広島県医師会、広島県地域医療支援センターなど広島県下の様々な団体・医療機関との連携・協力により推進し、次世代育成を目指した活動は、広島大学財務・総務室「男女共同参画推進室」と連携して推進することとした。

また、センターの運営支援は、医療政策室において行うこととした。

2 令和7年度 女性医療職等のキャリア支援事業実施計画

支援策の大きな柱は以下の通りである。

- I. キャリア継続・復職・保育に関する支援
- II. 活躍支援
- III. 支援情報の周知、支援ニーズの把握

I. キャリア継続・復職・保育に関する支援

(1) 相談窓口、新たな支援要望情報の収集

- ①「広島三本の矢 女性医師支援チーム（広島大学病院女性医師支援センター、広島県医師会、広島県地域保健医療推進機構地域医療支援センター）」による相談窓口

この3団体のどこに相談があっても情報を共有し、随時最適な支援策を策定して実行する。医学科学生から大学および県内の病院の初期臨床研修医、専攻医まで一貫した女性医師のキャリア相談とその支援を行う。女性医師のキャリア形成について、敷居の低いよろずやの相談窓口を目標とする。相談員は女性医師特有の事情を理解する必要があるため、各科の女性医師支援センター委員が応じる。事務的な手続きについては医療政策室が行う。

- ②女性医師支援センター ホームページ内での相談受付・回答、目安箱への書き込み

センターホームページを通して相談を受け付け、女性医師支援センター委員が回答を書き込み公開することにより、様々な質問に対する回答を周知する（公開を希望しない場合は公開しない）。たとえば産休、育休、復職支援について等。また、目安箱によって子育て世代等が必要としている支援内容を収集する（公開はしない）。

(2) 勤務体制・診療体制の改善につながる取組

- ①女性医師採用支援枠

出産・育児の後、職場復帰をめざす女性医師を対象として、女性医師個々の環境に応じたオーダーメイドのキャリア支援制度として、定員外の増員分の「女性医師採用支援枠」を設けている。現在の大学病院の医師定員数に含まれない、かつ勤務時間を自由に設定できる枠であり、常勤復帰までのサポートを行う。時間に制限のある女性医師の職務の補助をするための医師事務作業補助者も雇用する。

- ②復職支援プログラムの拡充

復職支援を行う中で、その支援は各診療科による違いだけでなく各個人のキャリアの状況によっても大きく希望する内容が異なることが明らかになってきた。そこで最近はケース毎に復職支援のためのプログラムを提案し、実践している。本センターは大学病院各診療科や教育関連病院に支援内容を依頼すると同時に、プログラムを実践するにあたって有効利用ができる広島大学病院の研修・学習体制があればそれを提供する。

●復職支援学習システム

各診療科が提供するプログラムを実践するために、e-ラーニングシステムの構築と利用を推進する。大学内外いづれにおいても研修が行えるシステムを構築し、各診療科で提供するプログラム支援を行う。また、種々のカンファレンスには自由に参加出来るように調整を行う。広島大学医学部では医学教育の一環として、バーチャルリアリティ（virtual reality:VR）技術を用いた実習を導入した。今後、この技術を駆使し、産休・育休後などの復職に当たって

必要な手技の確認・トレーニングをできるよう、コンテンツを作成する。

●復職支援研修コース

長期の離職からの復帰希望者に対しても、女性医師支援センターがこれまでのキャリアや離職期間などの聞き取りを個別に行い、各診療科でプログラムを立案していただきオーダーメイドの復職研修コースを提供する。広島大学病院のみならず、診療科の教育関連病院においても、復職研修プログラムを立案し、研修受け入れを調整する。また、広島大学病院外の復職支援を目的としたセミナー等への参加支援も行う。

(3) キャリアに対する理解・意識変革につながる取組

①女性医師のワーク・ライフ・バランス、キャリア形成に関する講演会・お茶会の開催

女性医師等が、病院勤務だけでなく開業や健診業務、介護施設勤務、企業の産業医、行政等、幅広いキャリアの可能性を知ってもらうため、広島県医師会に設置されている女性医師部会との連携により講演会を開催し、女性医師のワーク・ライフ・バランス、キャリア形成・継続に関する現状、情報の共有を行う。女性医師・女子医学生だけでなく、男性医師・男子医学生にも積極的に参加していただき職場全体での理解を図る。質問や相談をしやすいお茶会を開催する。医学科学生を含め、女性のみならず男性医師も対象とし、男性医師の女性医師支援に資する啓発を行う。

②「イクボス」に関する講演会、医師の親世代に対する介護の現状を伝えるセミナー等の開催

「イクボス」を増やすため、特に各診療科教授にもご参加いただく講演会を企画する。形態としては、FDの形での開催とし、より多くの指導的立場の医師に情報を提供し、子育て世代への支援に理解を促す。医師の親世代に対する介護の現状を伝えるセミナーは、子育ての終わった世代の現実的な問題として取り上げるが、子育て世代には将来自分が向き合うかもしれない問題として情報を提供する。

(4) 保育環境改善につながる取組

① Web 会議ツールを駆使したキャリア支援

新型コロナウイルス感染症の拡大で一般市民の移動が制限されることにより、オンラインオケージョンが増加し、リモートを前提とした活動やデジタル化が進行した。この方向性は育児、介護を行っている医師にとって好都合な部分も多い。これまで対面で行っていたキャリア相談や参集していたセミナー・講演会等に関し、オンライン/リモートで職場・自宅にて参加できるようシステムを構築し利用している。今後も、子育て・介護に支障のない場所・時間での相談、会議・講演会への出席、②に提案する企画への参加が可能になるように、積極的に Web 会議ツールを用いる。女性医師支援センター運営委員会も Web 会議ツールを使用し現地でも Web でも参加できるよう整え、無理なく子育て世代が参加できるようにする。

②各診療科女性医師懇談会・初期研修医を対象とした各診療科のリアルワールド紹介・子連れで参加できるスキル上達セミナー等の開催

これまで当センターの主催する女性医師懇談会は行われていたが、各診療科に特化した議題を話し合う機会も必要と考え、各診療科での女性医師懇談会の開催を推進する。また各診療科の女性医師等の働き方の実際を含め、初期研修医の不安等を解決すべく各診療科のリアルワールドを紹介する機会を設ける。さらに、最新治療法の紹介やエコーのハンズオンや腹腔鏡・内視鏡等のスキル上達を目指した子連れ参加可能なセミナーを開催する。スキルの上達だけでなくキャリアと家庭（家事、育児、介護等）の両立について気軽に議論のできる環境を作ることも目的

とする。Web 会議ツールを利用したセミナーやリモート指導を行う。

③夕方以降・休日の勉強会・研修会等開催時の託児経費補助

日中は診療に従事するため多くの診療科の勉強会等は夕方以降の開催となる。基本的にはオンライン／リモートでの参加も可能の方向で推奨するが、対面での参加で得られることも多い。そのような場合、育児中の女性医師等が参加しやすい環境整備のため、夕方以降に診療科等で実施する勉強会・研修会において託児を設置するための経費の補助を当センターで行う。夕方だけでなく、休日に開催するセミナー等の託児の経費も支援する。また持ち運びできるベビーベッドを本センターに備え、子どもを預けられないときに医局で短時間の打合せが必要な場合など、希望に応じて活用できるよう貸出を行う。

一方で、各診療科のカンファレンスなどは夕方以降ではなく勤務時間内に行えるよう意識改革を支援する。

④広島県医師会の子育て支援事業のサポート

広島県医師会の子育て支援事業として「保育サポーターバンク」が開設されたため、支援を必要とする女性医師等は保育サポーターの紹介を受けての利用が可能となった。運用の状況について、大学病院内の周知や広島県女性医師支援総合会議において広島県内の病院長あるいは人事関連担当者にも周知したため、令和7年度（1月末時点）は、前年度と比較してサポーターが10名、利用者が13名、マッチング件数が12件増加している。今後Webや会議の際の紹介を通して利用の拡大を促す。

⑤保育情報の取りまとめと共有

当センターで広島県下の主要病院および協力病院から院内保育についての情報を収集し、大学病院のホームページに掲載することにより広島県で就業するすべての医師と情報共有できるようにし、毎年アップデートを行っている。

⑥病児・病後児保育の拡充

広島大学病院の敷地内には、たんぽぽ保育園およびこすもす保育室の計2か所の保育施設があり職員の育児と仕事の両立を支援している。たんぽぽ保育園では一部、病児・病後児保育が可能である。不十分な場合には学外の病児・病後児保育施設を利用した者に対しては、その利用料を補助する事業が運用中であるが、今後学内での病児保育が充分に利用できるよう、病児・病後児保育施設の拡充について検討を行う。

⑦小学校の長期休暇期間中および緊急事態に呼応した子どもクラブの開設

小学校の長期休暇期間中には、大学病院敷地内で夏季子どもクラブ、冬季子どもクラブ、春季子どもクラブとして学童保育をおこなっている。

新型コロナウイルス感染防止のため小学校が臨時休校となった際には、急遽学童保育を実施した。大学病院勤務の利用者においては、医療従事者として勤務を継続することを求められる立場であることを鑑み、昨年度も女性医師、男性医師を問わず利用料の補助を行った。また、民間の学童保育を利用した者の利用料も一部支援した。今後いかなる緊急事態においても同様の利用料補助が行えるよう整備する。

Ⅱ. 活躍支援

キャリアを継続できている子育て世代医師に対する以下の支援は、活躍支援と同時にキャリア継続支援においても効果を発揮すると思われる。

(1) Temporary Mentoring 制度

- ①目的：子育て世代等の活躍を支援するため、業績作りをサポートする。研究、助成金獲得、子育てとの両立等に関し、希望者は個別のメンターを選択し、一時的に助言、サポートを受け、より質の高い業績をあげていただく。長期間のサポートは、双方の精神的負担になる場合が想定されるため、必要な時に必要なだけサポートを行う。
- ②メンター：男性医師、女性医師、当初は女性医師支援センター委員で始める。各委員の紹介をホームページ上にアップし、支援希望者からの指名を受ける。

(2) HUH (Hiroshima University Hospital) 活躍支援助成（広島大学病院の予算にて実施）

- ①目的：キャリアを継続している子育て世代医師が、さらに活躍できるよう、活躍支援を行う。
- ②対象：子育てをしながら広島大学病院で勤務をする医師
- ③助成内容：学会、勉強会参加に伴う保育に関わる費用
- ④助成金額：10万円まで
- ⑤報告事項：助成使途内容、それによる業績等を年1回行われる、医師と医学生のお茶会の際に発表していただき、ロールモデルとしての役割も担っていただく。

Ⅲ. 支援情報の周知、支援ニーズの把握

(1) 広島県女性医師支援総合会議

広島三本の矢チームの構成組織である大学病院診療科長、各診療科人事担当者、広島県内の病院長あるいは人事関連担当者、広島県、広島市医師会女性医師部会、広島県地域保健医療推進機構地域医療支援センターに加え、医師を求める診療所などすべての関係者が参加する会議であるため、本会議において支援情報の周知、情報共有、要望の収集等を行う。本会議において、女性医師キャリア支援に関し総合的に議論する。

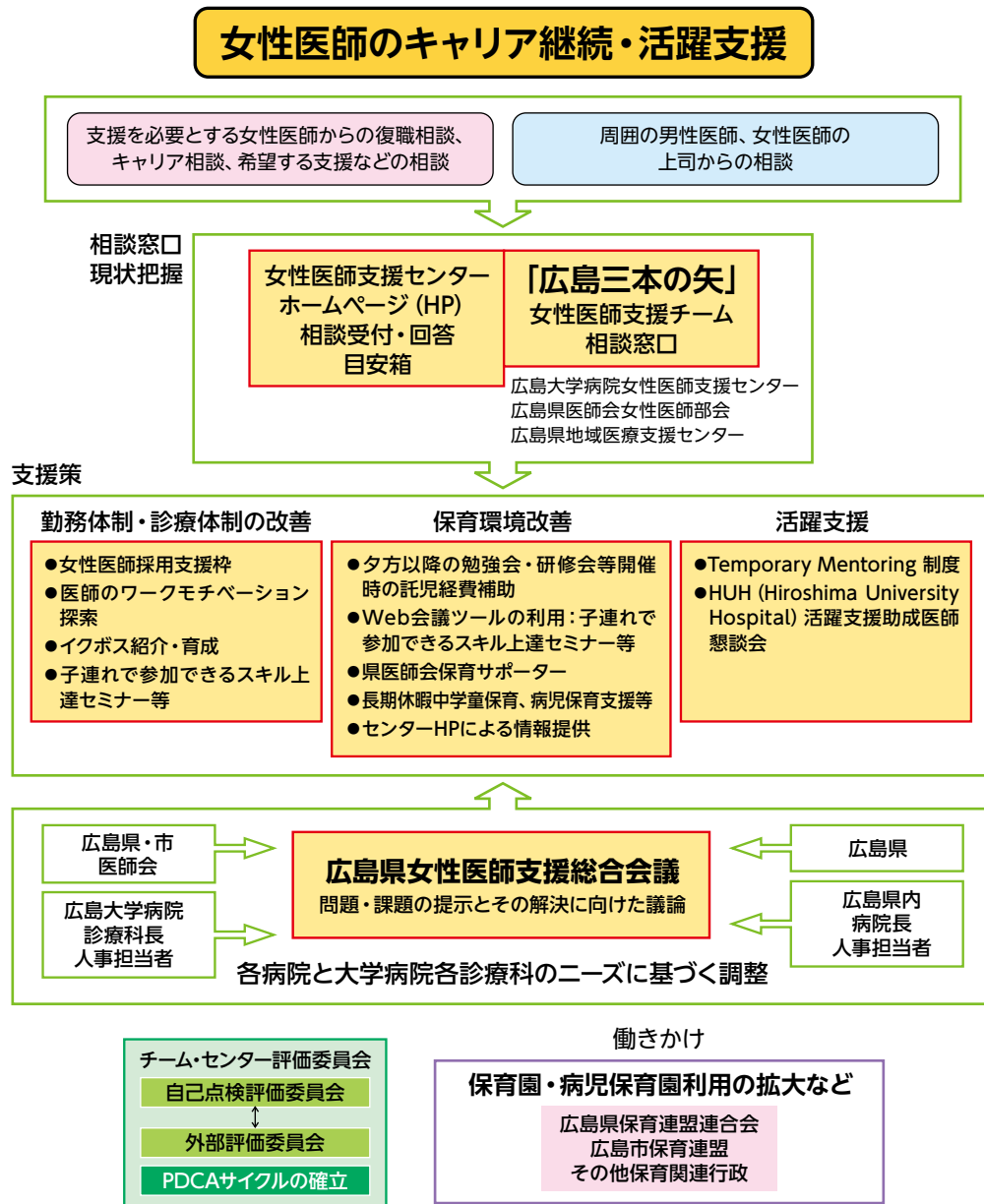
(2) 女性医師支援センター ホームページの利用

上記の事業の内容、公募、結果、相談回答等はすべてホームページで紹介するとともに、各診療科に女性医師支援担当委員をおき、診療科内での情報の公開をお願いする。

3 活動実績

本年度の活動状況および成果を以下に示す。

広島大学病院女性医師支援センター 支援策オーバービュー



1. 職場の理解にかかる取り組み

(I) 地域の医療機関、関係団体等との連携体制の構築

広島県医師会と連携し、女性医師・女子医学生をサポートするための講演会等を開催することにより、問題提起・解決策の模索を行った。

【医学生・研修医等をサポートするための会】

テーマ：「キャリア」

日時：令和7年11月26日(水) 18:30～20:00

場所：広島大学広仁会館中会議室 および Web (Zoom) のハイブリッド開催

講演：座長：広島県医師会女性医師部会長 石田 万里

講演1：「入ってよかった。放射線治療科」

講師：広島大学病院 放射線治療科 三好 章太

講演2：「キャリアも人生も、マイペースで歩むという選択」

講師：広島大学病院 乳腺外科 鷹屋 桃子

講演3：「私が脳神経内科を専攻した理由」

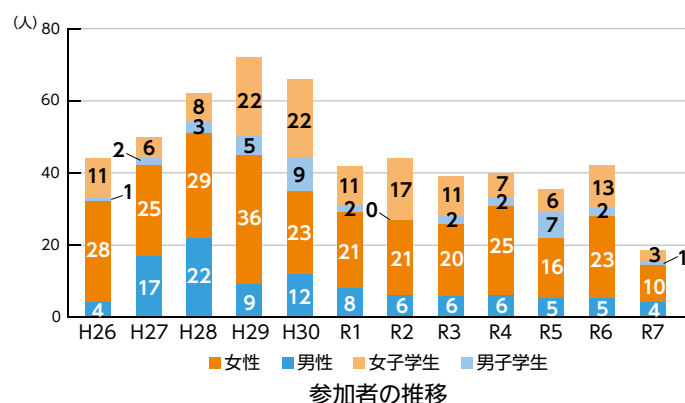
講師：広島大学病院 神経内科学 土ヶ内 紗矢

ディスカッション



総参加人数は18人(医学生4人、医師13人、研修医1人)であった。

今年度は、「キャリア」をテーマとして、三部構成でおこなった。第一部は、放射線治療科の三好先生から、入局までの経緯、入局後の実態や放射線治療科の魅力についてご講演いただいた。第二部は、乳腺外科の鷹屋先生から、専攻科を決めた経緯やキャリアと人生についてご講演いただいた。第三部は、神経内科学の土ヶ内先生から、仕事・家庭・趣味の3つの観点で自分らしく生きることについてご講演いただいた。その後のディスカッションでも多くの質問や意見が出るなど盛況のうちに終了した。



～参加者アンケートより～

■参加された感想は

- ▶迷っている自分の進路について考えるために良い気づきがあった。
- ▶まだ何科志望か決まっていない中で、内科、外科、放射線、それぞれのお話を聞くことができ、それぞれの診療科の魅力について知ることができた。
- ▶実生活の具体例を知ることができ、将来をイメージできた。

■参加されて女性医師支援、ワークライフバランス、男女共同参画に対する意識は変化しましたか

- ▶仕事と趣味を両立していきたいと思った。
- ▶趣味の時間を取りつつ人間力を高めていくことが、その人らしくメリハリをつけて行くために大事と感じた。
- ▶具体的なイメージが広がった。
- ▶夜間、休日の当番制の導入により女性だけでなく男性の生活にもゆとりができるものと感じた。

■今後もこのような活動は必要だと思いますか

- ▶先輩医師の生の声を聞く貴重な機会になった。
- ▶職場では聞くことができない貴重な機会だった。
- ▶いろいろな人の人生の視点を知ることができる機会にとっても有難いと感じたから。また、科へのイメージも変わった。
- ▶意識の醸成には継続が必要だと思う。

■ご要望・ご意見

- ▶とても良い話でした。
- ▶ありがとうございました。進路に悩んでいたのもとても参考になりました。



【医学生と医師のお茶会】

日時：令和7年12月11日(木) 16:30～18:00

場所：広島大学広仁会館大会議室

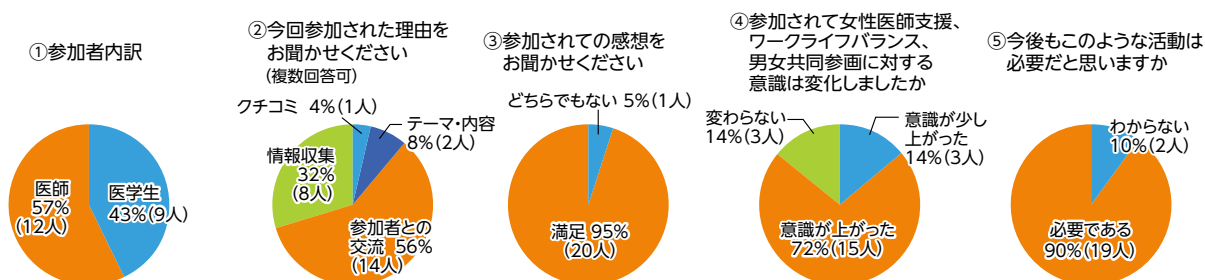
平成27年度の開始から、今年度で11回目の開催となった。参加者は医学生9人、医師17人、その他5名の計31人となった。

昨年度と同様に対面形式でお茶・コーヒーやケーキを飲食しながらの現地開催を行った。あらかじめ参加予定の学生から話を聞いてみたい診療科や質問内容等を収集し、なるべくそれに応えられるように対象の医師に積極的に声をかけた。HUH (Hiroshima University Hospital) 奨励賞受賞の1名及び活躍支援助成を受けた8名の医師から、子育てと診療や研究を行ううえでの工夫などの発表があり、様々な苦労がありながらも努力し、楽しく子育てや仕事を行なっていることが話された。引き続いて茶話会とし、いくつかのグループにわかれ、それぞれのテーブルでの自由交流を行った。

参加した学生は皆、参加してよかったとの感想であったが、もっと多くの学生が参加してくれるように、内容の企画や広報については更なる検討が必要と思われた。事前に多くの学生から意見を聞き、多くの学生にとって有益な時間となるように次年度につなげていきたい。



R7年度アンケート結果(回収率 80.8%)



～参加者アンケートより～

■感想・意見

医学生からの意見

- ▶たくさんお話が聞けて楽しかったです。
- ▶卒業後の将来像が少しわかりました。ありがとうございます。
- ▶開催ありがとうございました。



■次回開催した場合、取り上げたらよいと思うテーマ

医学生からの意見

- ▶大学病院やそれ以外の病院での働き方について聞きたいです。
- ▶先生方の1日・1週間の働き方について聞きたいです。
- ▶専門医取得、院への入学・留学の時期や期間など、初期研修以降のキャリアについて知りたいです。

成果

広島大学病院女性医師支援センターと広島県医師会との連携により、医学生、研修医等をサポートするための会および医学生と医師のお茶会を、今年度も継続して開催することができた。本連携により、医学生、研修医等を支援するための会には、女子学生のみならず男子学生を含む医学生の参加が継続的に得られており、若い世代に対してダイバーシティを考慮した情報提供、問題提起および解決策についての議論の場を提供するという目的は、一定程度達成されていると考えられる。

いずれの会においても、ポスター等から「女子・女性」という表記を削除し、性別を限定しない形での広報を行っている。これらの会は当初、女子医学生や研修医が医師として働く際に直面しやすい、出産・育児・介護等を含む女性特有の課題について、ロールモデルを示しながら共に考えることを趣旨としてきた。しかし、近年の社会的背景や働き方の変化に伴い、これらの課題は女性に限られたものではなく、性別を問わず医師全体が向き合うべきテーマとして捉えられるようになってきている。多くの男性医師が女性医師を配偶者またはパートナーに持ち、互いに支え合いながらそれぞれのキャリアを高め合っている現状を共有することで、男子学生や男性研修医にも将来の働き方や人生設計を具体的に思い描いてもらいたいとの考えから、男子学生および男性医師の参加も積極的に促している。

今年度は、演者として若手の男性医師に講演を依頼したことに加え、活躍支援に関する助成を獲得した男性医師も複数参加したため、比較的若い世代の男性医師の参加が多く、女性医師の働き方や医局運営について、多様な立場・視点から意見交換を行うことができた。医学生にとっても、男性医師の視点から語られる女性医師のキャリアや職場環境に関する話題は、大変参考になっている様子がうかがえた。一方で、学生や研修医に対して会の内容や雰囲気十分に伝わっていない可能性も考えられ、より気軽に参加でき、「参加してよかった」「次回は友人を誘って参加したい」と感じてもらえるような内容や広報方法への改善が必要であると考えられた。そのためには、学生のニーズを一方向的に想定するのではなく、学生の声を丁寧に聞き取り、双方向のコミュニケーションを通じて、学生や研修医のニーズに寄り添った会の企画・運営を今後も継続していきたい。

(Ⅱ) センター運営会議

センターの具体的活動目標

- 各診療科からの女性医師支援のための提案の受入
- 女性医師を含めた医局との連絡網の充実
- 勤務条件に制約のある女性医師の医局人事外での就職のサポート
- 保育所の情報収集と伝達
- 病児保育に関する情報収集と伝達
- 医学部学生時代からのキャリア形成紹介と教育

女性医師支援センター運営委員会

委員長：堤 保夫 教授・センター長

副委員長：蓮沼 直子 教授・副センター長

副委員長：中島 祐子 特命准教授・副センター長

	委員名	所 属	職 名	専門分野等
1	堤 保 夫	大学院医系科学研究科	教授	麻酔蘇生学
2	蓮 沼 直 子	大学院医系科学研究科	教授	医学教育学・皮膚科
3	中 島 祐 子	医系トランスレーショナル 教育研究支援センター	特命准教授	医学教育学・整形外科
4	中 村 優 子	大学院医系科学研究科	准教授	放射線診断学
5	香 川 礼 子	病院	助教	小児科
6	大 森 由里子	病院	特命助教	産科婦人科
7	小 松 香 織	病院	助教	眼科
8	倉 田 明 子	病院	診療准教授	精神科
9	檜 崎 壮 志	大学院医系科学研究科	助教	麻酔蘇生学
10	馬 場 隆 太	病院	助教	内分泌・糖尿病内科
11	松 尾 佳 美	病院	助教	皮膚科
12	網 岡 愛	病院	助教	乳腺外科
13	坂 原 朝 子	病院	医科診療医	放射線診断科
14	松 田 万 莉	病院	非常勤医師	放射線診断科
15	三 上 雄 也	病院運営支援部総務グループ	グループリーダー	—

令和7年度委員会開催状況

第1回	
日 時	令和7年6月25日(水) 17時から
議 題	1 広島大学病院女性医師支援センターの運営組織について
	2 令和7年度女性医師支援センターの年間事業について
	3 令和7年度広島大学病院女性研究者奨励賞について
	4 令和7年度広島大学病院活躍支援助成について
	5 その他
第2回	
日 時	令和7年9月16日(火) 17時から
議 題	1 令和7年度広島大学病院女性研究者奨励賞について
	2 令和7年度広島大学病院活躍支援助成について
	3 今後の事業の日程について
	4 広島県女性医師支援総合会議の議題について
	5 その他
第3回	
日 時	令和7年12月1日(火) 17時から
議 題	1 令和7年度医学生と医師のお茶会について
	2 広島県女性医師支援総合会議について
	3 その他

広島大学病院女性医師支援センター運営委員会細則

平成 29.3.22

病院長決裁

(設置)

第1条 広島大学病院女性医師支援センター内規第8条の規定に基づき、広島大学病院女性医師支援センター運営委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 女性医師支援センターの運営に関する事項
- (2) 女性医師支援センターの業務に関する事項
- (3) その他女性医師支援センターに関する事項

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- (1) 女性医師支援センター長
- (2) 女性医師支援センター副センター長
- (3) 内科系の女性医師のうちから2名
- (4) 外科系の女性医師のうちから2名
- (5) 病院運営支援部総務グループリーダー
- (6) その他病院長が必要と認めた者若干人

2 委員は、病院長が任命又は委嘱する。

3 第1項第3号、第4号及び第6号の委員の任期は、2年とし、4月1日に任命又は委嘱することを常例とする。ただし、4月2日以降に任命又は委嘱された委員の任期は、その任命又は委嘱の日から起算して1年を経過した日の属する年度の末日までとする。

4 第1項第3号から第6号までの委員の再任は、妨げない。

(会議)

第4条 委員会に委員長を置き、女性医師支援センター長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、女性医師支援センター副センター長がその職務を代行する。

第5条 委員会は、必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(情報公開)

第6条 委員長は、委員会に係る情報のうち、個人情報等で公開が不相当と認められるものを除き、広島大学病院に係る教職員に対し、その情報の公開に努めるものとする。

(事務)

第7条 委員会に関する事務は、医療政策室医療政策・医学系研究推進グループにおいて処理する。

(細則の改廃)

第8条 この細則の改廃は、病院運営会議の議決により行う。

(雑則)

第9条 この細則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この細則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 30 年 4 月 26 日 一部改正)

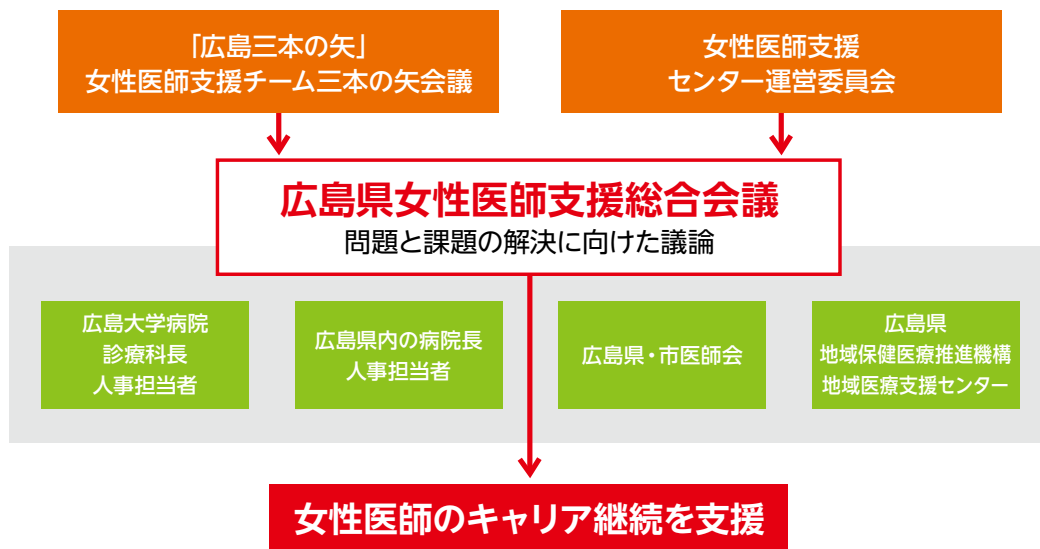
この細則は、平成 30 年 4 月 26 日から施行し、改正後の広島大学病院女性医師支援センター運営委員会細則の規定は、平成 30 年 4 月 1 日から適用する。

附 則 (令和 2 年 9 月 18 日 一部改正)

この細則は、令和 2 年 9 月 18 日から施行し、この細則による改正後の広島大学病院女性医師支援センター運営委員会細則の規定は令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

(Ⅲ) 広島県女性医師支援総合会議

女性医師のワーク・ライフ・バランス、キャリア形成に関わる問題点の共有および解決策の検討のために大学病院診療科長、各診療科人事担当者、広島県内の病院長あるいは人事関連担当者、広島県、広島県および広島市医師会、広島県地域保健医療推進機構地域医療支援センターなどすべての関係者を対象とし、開催する。特に教育関連病院の人事が行われる年末より前に、女性医師の希望、診療科の状況、教育関連病院の実態等を総合的に議論し、女性医師と病院のマッチングの会議とする。



【日時】 令和7年11月13日(木) 17:00～18:00

【場所】 オンライン会議

参加者

- 大学病院 13 診療科から課長又は各医局等人事担当者
- 教育関連病院 13 施設の病院長又は人事担当者
- 広島県
- 広島県地域保健医療推進機構 広島県地域医療支援センター
- 広島県医師会
- 広島市医師会
- 広島大学病院女性医師支援センター運営委員会委員



当日は、議長をつとめる中島副センター長からの挨拶の後、広島大学病院女性医師支援センターの取り組みについて報告があった。議長からは、本会議の役割について説明があり、育児中などで制約のある女性医師がキャリアを継続できるよう、また、短時間でも勤務できる女性医師を必要とする病院との医局人事以外でのマッチングについて依頼があった。その後、関連病院と各診療科に事前に記入していただいたアンケートをもとに、復職後の状況、複数主治医制またはチーム制の導入状況及び外勤をする場合の勤務時間の調整方法等について、活発な意見交換が行われた。

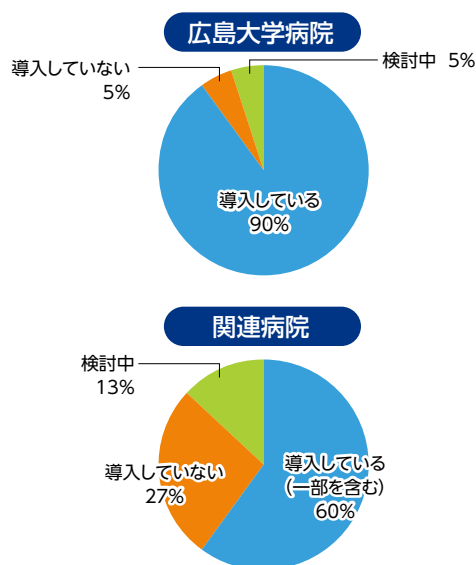
事前アンケートの結果に従い討議を行った。

●復職後の状況について

- 小学生以下の子どもがいる場合は、本人の希望があれば時短勤務や当直を免除している。
病棟を担当せず、夜間も呼び出されない制度を本人の希望で取ることができ、かなり優遇している。
逆に、当直をし、病棟を担当する等のすべての条件を満たした人には、毎月インセンティブを支払っている。
周りからの不満はあまり出ていない。小さい子どもがいても、インセンティブのために当直をする女性医師もいる。
- 家庭ごとに背景がそれぞれ違うため、統一された決まりを作るのは無理というのが最終結論であり、個別対応に尽きるのではないかと考えている。
- 個人差があるので、育休中も面談をし、いつから復帰したいのか、それぞれの家庭の事情や本人の働き方の希望等を確認している。時短復帰から始めて、その後フルタイムになる方が多い。

●複数主治医制またはチーム制の導入状況について

事前アンケート結果



討議内容

- 病院としては、複数主治医制またはチーム制を推進しているが、運用できる診療科と運用できない診療科がある。
- 小児科や産婦人科は、主治医は一人だが、夜間や土日は必ず当番の先生が全部診るチーム制で運用している。心臓血管外科は、完全な主治医2人制で運用している。ほかの診療科は、状況に応じて運用しているが、循環内科や腎臓内科のように患者数が多い診療科は、うまくチーム制ができていない現状である。
- 診療科内の各グループに任せているが、土日は当番を決めて対応している。情報共有を重視しており、定期的にカンファレンスを行っている。

●外勤をする際の勤務時間の調整方法について

- 当院には、外勤は基本的に無い。主任部長クラスの先生が、外から手術支援の依頼を受けて外勤に行くことはあるが、届出制にして申請する運用となっている。
- 大枠は医局長が原案を作り、あとは個人調整してもらうという形にしている。勤務体制が裁量労働制の人、時間単位の人と様々であり、超過勤務の警告もよく出るため、それぞれの希望を叶えるのは大変である。超過勤務の警告が出た場合、本人の勤務状態をビーコンの履歴で確認し、本人に言うしかない。なかなか一朝一夕に解決する方法はないような気がしている。大学は人数が多く柔軟に対応できるが、派遣先の病院では、その時に応じて対応せざるを得ないような印象を受けた。サポートシステムの周知について、今後考慮してもらえるとありがたい。
- 勤務時間まで調整しているわけではないが、当直明けに外勤が入らないようチーム制でやりくりしている。患者さんの病状次第ではあるが、基本的に夜遅くまで当院の業務を行わないようにしている。
- 月に4日間、土日に休むよう超過勤務の管理をしている。

●その他

- 産休に入るドクターが産後、当院に帰ってくるのか分からないため、今後の動向が分かれば教えていただきたい。
- 当院には、産休中の補充人員は派遣されないため、欠員状態となる。組織としては一人欠けるが、採用状態のまま給料を支払うため、抜けた穴を埋める人材の補充もなく、残った人間がその分を負担して働いている状況である。人員補充を認めてもらえればよいのだが、特に女性医師の多い産婦人科や麻酔科において、夜間、休日の当直体制を確保するために、他の医師に負担をかけてしまう現状がある。他の医師に負担をかけることを産育休に入る先生が申し訳なく思うのは本来あるべき姿ではないため、大きな問題かなと思う。補充人員を派遣してもらえるのであれば、非常にありがたく思う。
- 産休中も給料が支払われているため、産休後に元の病院に戻るのとは基本だと思う。なんとか調整しているつもりである。
- 大学の診療科によって考え方が違うのかもしれないが、このような問題が出たということを共有したいと思う。

●全体を通して

- 各施設診療科から制度や運用の工夫を紹介いただいたが、現場で柔軟な対応がされているのが現状だと感じた。
- 制度があってもそれを知らない人もいると思うので、各自の事情を聞き、制度を教える仕組みがあるといいと感じた。
- 患者数も含めて、施設ごと、診療科ごとの特徴があるが、参考になるところはお互いに参考にいただければと思う。

相互の希望をマッチングしてキャリア継続支援

教育関連病院

課題、要望

- 短時間勤務医の受け入れ要望
- 院内保育対象外年齢に達した子どもの預け先

連携

広島県、 地域医療支援センター

広島県：女性医師等就労環境整備事業を実施
地域医療支援センター：「ふるさとドクター
ネットひろしま」を活用し、県内病院からの求
人情報の提供と就業希望者の相談に対応

● 教育関連病院の支援内容を
一覧にして配布

● 関連病院の院内保育園の概要を
一覧にして配布

● 複数の病院で常勤雇用での
時短勤務受入（応相談）

● 出席者間で情報共有

大学各診療科

課題、要望

- 関連病院の支援制度を知りたい
- 専門医取得のために常勤雇用での時短勤務を
- 子どもの急な病気の際に預け先がほしい

連携

広島県医師会

● 子育て支援事業
「保育サポーターバンク」

広島大学関連の人事交流医師数 26 人以上の病院分布図



- | | | | |
|------------|--------------|-------------|-----------|
| ① 県立広島病院 | ⑥ 広島市民病院 | ⑪ 土谷総合病院 | ⑫ 舟入市民病院 |
| ② 安佐市民病院 | ⑦ 東広島医療センター | ⑫ 県立二葉の里病院 | ⑬ 済生会広島病院 |
| ③ 呉医療センター | ⑧ 広島赤十字・原爆病院 | ⑬ マツダ病院 | |
| ④ JA広島総合病院 | ⑨ 中国労災病院 | ⑭ 広島西医療センター | |
| ⑤ JA尾道総合病院 | ⑩ 三次市立三次中央病院 | ⑮ 呉共済病院 | |

2. 相談窓口等にかかる取り組み

どの窓口にも相談しても三者で情報を共有し支援につなげる取組



平成 29 年 4 月 1 日付けで開設した広島大学病院女性医師支援センターでは、相談窓口を設置し、平日の 8:30 から 17:15 まで相談を受け付けてきた。また、直接来られない場合でも、電話又はメール、女性医師支援センターのホームページでの相談を受け付け対応しており、相談窓口の設置についてはセンターのホームページでも広く案内している。これとは別に、広島県医師会にも女性医師等相談窓口があり、また、広島県地域医療支援センターでも相談を受け付けるなど、それぞれの窓口にあった相談については個々に対応する場合もあり、広島県内の女性医師が抱える問題にかかる総合的な情報共有のあり方が課題であった。

そこで、平成 30 年度から「広島三本の矢：女性医師支援チーム」を設立し、広島大学病院女性医師支援センター、広島県医師会、広島県地域医療支援センターが三位一体となって、互いに相談を受けた場合には、速やかにコアメンバー会議を開催し、支援策を展開するという体制を整えた。そして、相談のあった事例については、広島県女性医師支援総合会議で議論し、マッチングを行い、女性医師のキャリア継続を支援する

相談内容	対 応
歯科研修医の産休・育休制度及び経験者の有無について	規則を確認後、制度の内容をまとめている広島大学のHPを案内し経験者等については、病院歯科領域臨床教育センターに確認するよう案内した。
公立の保育園の優先度について	規則等に則り、本センターで公立の保育園の優先度に関する対応は難しいため、自治体等へ相談するよう案内した。

女性医師支援センター

お問い合わせ

女性医師支援センターでは、皆さんからのご相談を受け付けています。

- ・休んでいたけど医師として復帰したい。
- ・子どもの保育施設や育児支援に関する情報を知りたい。
- ・仕事と育児を両立したい。
- ・その他、女性医師としてのキャリアについての相談、など

何でもお気軽にご相談下さい。電話はもちろんメールでも受け付けていますので、忙しい方でも時間を気にせずご相談頂けます。ご希望があれば直接面談することも可能です。

ひとりで悩まず、まずはご相談ください。
ご連絡をお待ちしています。

■ 住所

〒734-8551 広島市南区霞一丁目2番3号
(臨床管理棟2F西側・医療政策室内)

■ 電話番号

TEL : 082-257-1576/FAX : 082-257-1703

■ メールアドレス

iryo-seisaku@office.hiroshima-u.ac.jp

■ ホームページ

<https://hosp-diversity.hiroshima-u.ac.jp/>



3. 勤務体制、診療体制にかかる取り組み

出産・育児等のために、長期にわたって医療現場から離れていた女性医師が、再び診療を行えるようになるまでには、一律の復職支援では十分ではない。復帰する診療科によって必要とされる手技や知識は全く異なるうえ、休んでいた期間の長さ、両親や配偶者の支援がどの程度受けられるか、子どもの健康状態がどうか、などによって、女性医師が必要とする支援は様々である。

広島大学病院においては、女性医師採用支援枠を設け、自由な就業時間を設定できるよう配慮し、常勤復帰までのサポートとすると同時に、診療科ごとに、女性医師の状況に応じて、柔軟な配慮を行うことができるよう取り組んだ。具体例を以下に記載する。

各診療科独自の取り組み

- 女性医師との日程調整
- 朝 8 時台のカンファレンス、ミーティングの免除
- Web 会議ツールを用いたカンファレンスの実施
- カンファレンスを就業時間内に行う
- 緊急手術、緊急処置などの際に勤務時間延長とならないよう配慮
- 子の急病などの際の勤務変更など配慮
- 家庭の事情などによる勤務時間、勤務形態などの変更への配慮
- 時間短縮勤務の徹底
- 急な欠勤も対応可能にする
- 日当直および夜間待機の免除
- 診療科スタッフの診療支援（陪席、技術支援）
- 日常診療や最新医療の知識、手技の獲得

4. 保育にかかる取り組み

小学校・保育園の臨時休校・休園にかかる学童保育利用を支援

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類へと移行したものの、小学校や保育園が臨時休校・休園になった場合、子どもがいる医師の家庭においては、保護者も医療従事者として勤務を継続することを求められる中、子どもの預け先に苦慮する状況となるため、引き続き、臨時休校・休園の際に民間の学童保育やベビーシッター等を利用した医師の家庭に対しては、利用料の一部を支援することとした。

関連病院等の院内保育園について情報提供

霞キャンパスの敷地内では、たんぽぽ保育園（定員72名）と、こすもす保育室（定員6名）を設置し、教職員の仕事と子育ての両立を支援しており、入園募集の開始などについて、適時に女性医師支援センターのHPに掲載するとともに、メーリングリストを活用して情報提供するほか、小学校の長期休業期間内に霞キャンパスの敷地内で実施される学童保育や、病後児保育利用料補助事業の募集などについても、情報提供を継続している。



また、人事交流で異動しながら勤務することが多い医師のために、関連病院の協力を得て、各病院が運営する院内保育園の定員、開園時間、保育料、入園申込みの連絡先などの情報を一覧にまとめ、HPに掲載している。

院内保育園の設置状況 R8.2.28 広島大学病院女性医師支援センター運営委員会調べ

施設名	保育施設名称	利用対象職種	定員	年齢別内訳	開所日	日祝	保育時間	延長保育	保育料	病児・病後児保育	夜間保育	給食	申込み時期 ※4月入園の場合	入園決定時期	担当連絡先	年度途中入園	備考
1 県立広島病院	みらい保育所		40人程度	年齢別の定員なし 満1歳以上5歳以下	月～土	なし	7:15-18:15	18:15-20:15	広島市規定に準ずる	あり	月2回	あり	随時		総務課庶務係 082-254-1818	空きがあれば可	日曜保育は月一回
2 広島市立北部医療センター・安佐市民病院 ※備考欄を要確認	あいぐらん保育園 めぐみ保育園	機構職員全て及び アイグループ職員	90人	生後2か月～小学校未就学児まで 年齢別の定員なし	365日（ただし土日祝などで、利用児童がいない日は休園）	あり	7:30-18:30	18:30-19:30	【3歳未満】 30,000円 【3歳以上】 0円（保育料対象者） ただし、別途給食費5,500円	あり	週2回（火曜・木曜）	あり	随時		あいぐらん保育園 めぐみ保育園 082-847-6604	空きがあれば可	令和4年5月の病院移転開業に伴い、院内保育園がアイグループによる企業主導型保育園となつたため、病院敷地外ですが、病院のすぐ横に設置し、引き続き事業所保育園として機能します。
3 広島市立広島市民病院	くるみ保育室	機構職員全て	50人	0～3歳まで 3歳になった年度末まで	365日	あり	7:30-18:00	18:00-20:30	月額22,000円 （日曜1,100円） 給食代（1食300円・おやつ代（1食50円）は別途徴収	病児保育あり	週2回（火曜・木曜）	あり	入所希望月の前月20日まで		総務課庶務係 082-212-3134	空きがあれば可	
4 広島市立舟入市民病院	なし																
5 広島赤十字・原爆病院	院内保育所 こころ	病院職員	30人	年齢別の定員なし 2か月（産休明け）～6歳（小学校就学前まで）	月～土	なし	7:30-19:30	あり 要予約	月額利用：30,000円/月 ※利用：3,000円/日 給食代：300円/食（おやつ120円/日）	なし	あり	あり	1月以降	3月中旬頃	人事課 082-241-3111(内)3142	空きがあれば可	
6 JA 広島総合病院	さくら保育園	病院職員（有期契約者除く）	20人	年齢別の定員なし 0～3歳まで	月～土	なし	7:30-18:30	なし	35,000円（3歳未満） 35,000円（3歳以上）	なし	あり 金曜日のみ	あり	常時		総務課 0829-36-3111 代	空きがあれば可	
7 JA 尾道総合病院	すくすく保育所	全職種	30人	年齢別の定員なし 0～3歳まで 3歳になった年度末まで	月～金	なし	7:30-18:00	なし	24,000円 （3歳未満、3歳以上） ※2人目から半額	なし	なし	あり	8月中旬～9月中旬	10月下旬	人事課 0848-22-8111	空きがあれば可	
8 県立二葉の里病院	のぞみ保育園	職種の制限なし	46人	年齢別の定員なし	月～土	なし	7:30-18:30	18:30-19:00	32,000円（3歳未満） 8,000円（3歳） 8,900円（4歳以上）	病児保育あり	なし	あり	1月以降	2月頃	事務部総務企画課 082-262-1171	空きがあれば可	
9 中国電力株式会社中電病院	なし																
10 マツダ病院	にこにこキッズ園	マツダ病院カレンダーに基づいて勤務する社員（受入れ職社員を除く）	20人	年齢別の定員なし 0歳（生後2ヶ月）から6歳（小学校就学前）まで	月～土（休日は、日祝及びマツダ病院カレンダーのお盆、年末年始の休日）	なし	7:30-18:30	18:30-19:30	48,000円（3歳未満） 27,500円（3歳以上） ※同時期に2名以上の子どもを保育する場合、保育料の安い方を半額とする	なし	月2回 第2・4金曜日	あり	10月1日頃		事務部総務チーム 070-7577-0528	空きがあれば可	
11 中国労災病院	もみじ保育園		33人	生後6ヶ月～3歳まで	月～金	なし	7:30-17:30	17:30-19:00	登録乳幼児の保育料は月額22,000円（税込） 2人目16,500円（税込） （0～1歳：142,000円/月まで無償） 食事代：350円	なし	なし	あり			総務課 0823-72-7171	空きがあれば可	
12 呉共済病院	駅前せいらんじ	全職種	52人	0歳12人、1歳20人、2歳20人、3歳～5歳なし	月～土	なし	7:30-18:30	18:30-21:00	37,100円（0歳） 37,000円（1歳以上）	なし	なし	あり	随時	随時	総務課 0823-22-2111	可	

	施設名	保育施設 名称	利用対象 職種	定員	年齢別 内訳	開所日	日祝	保育 時間	延長 保育	保育料	病児・病後児保育	夜間 保育	給食	申込み時期 ※4月入園の場合	入園決 定期	担当連絡先	年度途 中入園	備 考
13	呉医療 センター・ 中国がん センター	すずらん園	呉医療セン ターに勤務 する職員の 家族	50人	満生後4ヶ月 から満4歳ま での乳幼児	月～土(土 曜は第2、 第4のみ)	なし	7:45- 19:00	19:00- 21:00	24,000円(2歳未満) 22,000円(2歳以上)	なし	あり	あり	不定期	不定期	0823-22-3111(代)	空きが あれば可	
14	東広島医療 センター	あゆみ園	全職種	65人	0歳児10名、1歳児11 名、2歳児12名、3歳児 12名、4歳児5歳児20名	月～金	あり(土 曜も)	7:45- 18:30	7:30- 7:45 18:30- 19:00	29,000～31,000円(3歳未満) 26,900円(3歳以上)	なし	なし	あり	随時	随時	保育所 082-431-4425	可	
15	広島西医療 センター	たけのこ 保育園		30人	0歳児7名、 1歳児10名、 2歳児10名、 3歳児3名	月～土	なし	8:00- 18:30	6:40- 19:30	24,500円(0～1歳) 25,000円(1～2歳) 24,500円(2～3歳) 21,000円(3歳以上)	あり	なし	なし	入園しようとする1か 月前までに入園申込 書を提出、4月入園 の場合3月1日頃	3月 7日頃	たけのこ保育園 0827-59-3577	空きが あれば可	
16	土谷 総合病院	なし																希望者数減少のため 院内保育園休止
17	市立三次 中央病院	さくらんぼ		19人	年齢別の 定員なし	月～土	なし	7:30- 18:30	18:30- 19:30	25,000円(3歳未満) ※同一世帯に属する 2人以上の乳幼児に おける2人目の乳幼児 月額12,500円	なし	なし	あり	随時		病院企画課 0824-65-0152	可	
18	広島大学 病院	たんぽぽ 保育園	病院勤務 者を優先	72人	0～5歳児まで 各12人	月～土	なし	7:30- 19:00	19:00- 20:00	59,000円(3歳未満) 38,000円(3歳以上) ※給食費込み	他施設の 利用料を 補助	なし	あり	12月中旬～ 1月末	2月 月上旬頃	たんぽぽ保育園 082-257-5599	追加募集 時のみ可	https://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/tanpopo/
19	広島大学 病院	こすもす 保育園	広大勤務の 全職種及び 広島大学の 学生	6人	生後9週以上 15月未満(定 員に空きあり の場合2歳児 まで)6人	月～金	なし	7:30- 19:00	19:00- 20:00	59,000円 (0歳～2歳児) ※給食費込み	他施設の 利用料を 補助	なし	あり	1月中旬～ 2月下旬	3月 月上旬頃	男女共同参画推進室 082-424-4355	空きが あれば可	https://www.hiroshima-u.ac.jp/gender/worklife/cosmos 入所待機児童を対 象とする
20	庄原赤十字 病院	ダンネの 森	職員	15人	0歳～2歳	月～土	なし	7:30- 18:30	18:30- 19:00		あり [わらべ保育室]	あり (木曜日)	あり	随時		(事務室) 0824-74-6636	可	
21	社会福祉法人 恩賜財団 済生会広島病院	保育室 さくら	病院・ 施設職員	30人	0歳～3歳 年度末	月～土	※備考欄	8:00- 18:00	7:00- 8:00 18:00- 21:00	保育料月額20,000円 給食費月額5,000円	あり	なし	あり	随時		総務課 082-884-2566	可	第2日曜日 (希望に応じて)
22	JA広島厚生連 古田総合病院	古田総合病院 保育園たんぽぽ				月～土		8:00- 18:30		35,000円/月額 (3歳未満) 24,500円/月額 (3歳以上)						0826-42-0656		
23	県立障害者 リハビリテー ションセンター	なし																
24	吉島病院	なし																
25	社会福祉法人 恩賜財団 済生会呉病院	保育室 [なでしこ]				月～土(土 曜は第2、 第4のみ)	※備考欄	8:00- 19:00								0823-25-2192		第2、第4の日曜のみ 8:00-19:00
26	一陽会 原田病院	クローバー 保育園	職員	27人	職員の子で0 歳から4歳ま での乳幼児	月～土	※備考欄	7:30- 19:30	夜間対 応あり			夜間保育 (週2回 /23時 迄)	あり					日曜日保育(月1回) 祝・定休日保育 https://www.icy.or.jp/recruit/welfare/nursery_school.html
27	広島県立 安芸津病院	なし																
28	三原市 医師会病院	さつき 保育園	病院職員					8:00- 18:00	18:00- 19:00				16:00～ 10:30 毎週水曜 日及び第 3日曜日			0848-64-7074		http://mihara-hiroshima-med.jp/hp/facility/information/welfare/satsuki-nursery/
29	呉市 医師会病院	保育所 ひだまり	呉市医師 会職員と医 師の子		生後3か月(夜 間は生後6か 月)から満3歳 になる年度の 3月末	毎日	あり	24時間 保育 可能	※備考欄	月額10,000円 日額(昼間)1,000円 (夜間)500円 (夜間明け)1,000円 (休日)半日1,000円 1日2,000円	なし	あり	あり			保育士 宮川・瀬口 0823-27-3001 (内線2180) ※受付時間 8:00-17:30	(昼間)8:30-17:15 (夜間)16:30-翌朝8:30 (夜間明け)8:30-17:15 (休日)8:30-17:15 http://www.kure.hiroshima-med.or.jp/hp/hoiku.html	
30	安芸市民病院	すこやか 保育園	安芸市民病 院に勤務す る職員	36人	0歳～小学校 就学前まで	月・火・木・ 金・土	なし	7:30- 18:30	あり	0～2歳児 30,000円/月 3～5歳児 20,000円/月 2人目 10,000円引き 延長保育 850円/60分 一時保育 3,000円/1日			あり			安芸市民病院 総務課 082-827-0121		http://www.hosp.city.hiroshima-med.or.jp/kangobu/nursery-school/
31	三次地区 医療センター	きらきら 保育所	職員(地域 のお子様、 転居した子 の)の方	15人 (地域枠4人)	満9ヵ月から 3歳未満	月～土	原則 なし	8:00- 18:30		従業員:11,000円 ～22,000円(第 3子は無料) 地域枠:三次市の 定める保育料			あり					地域枠でのご利用を 希望される方は、三 次市子育て支援課に ご相談下さい。 http://www.miyoshi.hiroshima-med.or.jp/html/kirakira.html
32	総合病院 堀尾生協病院	ひまわり 保育園 ぽかぽか 保育園	病院職員 ※ひまわり 保育園は地 域のお子様 も可	22人	生後8週から 3歳を迎える 年度末	月～土	あり	※備考欄		(地域枠)広島市が決 定した利用者負担額 (従業員枠)広島市 が決定した利用者負 担額から2割減額し 上限額は35,000円	あり	あり	あり			ひまわり保育園 082-292-3183 ぽかぽか保育園 082-292-3179	ひまわり保育園 7:30～18:30 ぽかぽか保育園 8:00～17:30 http://www.hch.coop/hch/himawari/index.html	
33	三原赤十字 病院	三原赤十字 病院院内 保育所						8:00- 18:00				16:00- 翌10:00						
34	公立みつぎ 総合病院	院内保育所 あゆみ														0848-76-1314		
35	公立世羅中央 病院	きらめき キッズ ルーム	企業団に勤 務する職員	18人	生後2ヶ月 から小学校 3年生まで	12/29～ 1/3以外 開所	あり	※備考欄	就学前 保育・延長 保育/18:00- 20:00 学童保育・延長 保育/18:00- 20:00	就学前保育 3歳未満/15,000円 3歳以上/11,000円 延長保育/200円 学童保育 5月、6月、9月～11月、 2月……………3,000円 4月、7月、12月、1月、 3月……………4,000円 8月……………5,000円						0847-22-2577	就学前保育 ・通園の保育/7:30- 18:00 学童保育 ・通園の保育/15:30- 18:00 http://www.serachuo-hp.jp/info/hoikuen.html	
36	安芸太田病院	なし																
37	広島記念病院	なし																
38	大基会 三原病院	ひまわり 保育所		40人	0歳児3名、1歳児 6名、2歳児6名、3 歳児8名、4歳児 9名、5歳児8名			8:00- 19:00		無料								https://miharahp.com/recruit/about/

令和7年度
活動報告

	施設名	保育施設 名称	利用対象 職種	定員	年齢別 内訳	開所日	日祝	保育 時間	延長 保育	保育料	病児・病後児保育	夜間 保育	給食	申込み時期 ※4月入園の場合	入園決 定期間	担当連絡先	年度途 中入園	備 考
39	国立病院機構 福山医療 センター	杉の子 保育園	院内職員		生後6週間～ 3歳児 ※幼稚園とのリ レー保育の場 合就学前まで											084-920-7010		https://fukuyama.hosp.go.jp/welfare.html
40	広島市こども 療育センター	なし																
41	厚生堂 長崎病院	さくら 保育園	職員	10人	0歳(生後2ヶ月 から就学前)	月～土	なし	8:00- 18:00		要問合せ						問い合わせ先: 事務長		
42	信愛会 日比野病院	日比宅 日比家		23人 15人						保育料1時間100円 給食費1食350円								https://shinaikai.hibino.or.jp/facility/hibitaku/
43	国立病院機構 岡山精神医療 センター	たんぽぽ 保育園			0歳児～ 5歳児													https://kamo.hosp.go.jp/about/child_care.html
44	因島医師会 病院	あり																
45	たかまさ会 山崎病院	パンビ 保育所			0歳～6歳					月額／10,000円 臨時／1日600円、 半日300円 食事／朝食100円、 昼食100円、 昼・夜200円		あり				082-280-0556		
46	光善会 荒木脳神経 外科病院	アラキッズ ルーム	職員	12人	0歳児～小 学校就学前 の幼児	全日	あり			月額6,000円(給食 手作りおやつ代込) 一時預かり500円 (食事を含む)		あり	あり					https://arakihp.jp/recruit/welfare/arakids-room/
47	せのがわ 瀬野川病院	キッズ ルーム	医療法人せ のがわに勤 務する女性 スタッフ		生後3ヶ月～3 歳までとする。 (相談可)	月～土	なし	8:30- 18:00		一泊目1日500円 二泊目以上1日300円			なし					https://senogawa.jp/recruit/
48	井野口病院	なかよし 保育園	病院 スタッフ		育児休暇明けの 1才～3才までの 常時保育と、 長期休暇や放課 後に対応した小 学校3年生まで の一時預かり	月～土	あり	8:00-	保護者 の勤務 終了ま で									https://www.inokuchi.or.jp/about/group/headquarters/nursery-school.html
49	呉共済病院 忠海分院	なし																
50	祥和会 脳神経センター 大田記念病院	あすなろ 託児所	祥和会 職員専用										あり					https://otahp.jp/recruit/welfare/
51	まりも会 ヒロシママ 平松病院	なし																
52	うすい会 高尾ニュー タウン病院	高尾 ニュータ ウン病院 保育室	法人職員が 保護者である 家庭保育が困難な乳 幼児		0歳～小 学校低学年 (一時預かり 可能)	365日		8:00- 18:30		1時間100円	なし		なし			082-843-9082		https://www.usukai.jp/recruit/
53	広島厚生会 広島厚生病院	広島八景園 保育園 (近隣にあるグル ープ内施設 の院内保 育園)	職員	6人	生後6カ 月 から2歳 児 まで			7:30- 18:30										
54	ハートフルア リハビリテー ション病院	あまの 保育園	地域の方 もご利用 できます。	70人	0歳児:18名/ 1歳児:22名/ 2歳児:30名/ 3歳児:0名 (病後児保育4名)	月～金		7:50- 18:50		1才目13,000円(園費) 19,000円(地域の方) 2才目～11,000円(園費) 9,500円(地域の方)	病後児保育(火曜 日・日曜日休園) ※職員のみ	夜間・早朝 保育(水曜 日・土曜 日のみ) ※職員のみ	あり			あまの保育園 0829-32-8800 amano-hoiku@ amano-reha.com		http://www.amano-reha.com/amano_hoiku.html
55	広島県立 障害者教育 支援センター	なし																
56	樹亭会 本永病院	あり																
57	辰川会 山陽病院	おひさま 保育園	従業員枠 17名 地域枠 13名	30人	0歳児(生 後2ヶ月)～ 2歳児	月～土		7:30- 18:30		辰川会グループ常勤 職員:15,000円/月 (法人規定による) 福山市から保育 認定された方:福 山市の規定による						084-927-0840		https://www.sanyo.or.jp/kids/
58	広島県立 福山若草園	なし																
59	広島はくしま 病院	なし																
60	一ノ瀬病院	なし																
61	井口医院	こども 育成舎 ゆづ		約20人	0歳児 1、2歳児 3～6歳児 (就学前児) 各若干名	月～土	なし	8:00- 19:30		0歳児40,000円 1～6歳児35,000円			あり			082-824-8882		
62	貴和会 佐伯中央病院	なし																
63	清風会 廿日市 記念病院	保育室	法人に 勤務する 職員	25人	0歳～6歳 までの乳幼児	全日	あり	24時間 保育 可能				あり	食事代: 310円/食 おやつ代: 1500円/月					https://www.seifu.or.jp/kango/nursing/
64	せいざん 青山病院	職員専用 託児所			0歳～6歳まで	月～土		8:00- 18:00										
65	清幸会 三原城町病院	おひさま 保育所			0歳～未就 学児		あり	8:00- 18:00	木 18:00- 22:00				あり					https://www.mihara-shiomachi-hp.or.jp/recruit/working/daycare/

	施設名	保育施設 名称	利用対象 職種	定員	年齢別 内訳	開所日	日祝	保育 時間	延長 保育	保育料	病児・病後児保育	夜間 保育	給食	申込み時期 ※4月入園の場合	入園決 定期限	担当連絡先	年度途 中入園	備 考
66	玄同会 小島病院	小島病院 託児所	職員	なし	産休明け～ 就学前まで	月曜日～ 土曜日		8:00- 18:00 (延長が有 る場合)					あり					https://kobatake. or.jp/recruitment/ benefit/
67	慶寿会 千代田中央病院	なし																
68	せがわ会 千代田病院	たんぽぽ 保育所	医療法人 社団せが わ会職員	25人	0歳児から 小学3年生 まで	全日	あり	8:00- 18:00		A型1か月あたりの 利用日数がおおむ ね15日以上：月額 10,000円 B型(上記以外)：日 額600円 ※おやつを注文され る場合は日額50円。						総務課 0826-72-6511		http://www.chiyoda- hospital.or.jp/ united22.html
69	松栄会 瀬野記念病院	なし 設置予定なし																
70	財竹政会 セントラル病院	わくわく 託児所			0歳～3歳							あり						
71	府中 市民病院	おひさま 保育所																
72	府中北 市民病院	なし																
73	社団沼南会 沼南病院	託児所 つばさ	沼南会従 業員	30人	産後から 就学前まで	月～土		※備考欄										月曜～土曜 8:00～18:00 (第1・3日曜 8:00 ～18:00) ※必要時待所 https://www.shounankai. or.jp/recruit/welfare.html
74	微風会 ビハラ 花の里病院	チャイルド ハウス いづみ			1歳から													https://mifukai.jp/ co/action
75	宅会グッド ライフ病院	グッド ライフ 実習保育園	グッドライフ 病院従業員 10名、 地域10名	20人			なし	7:30- 18:30	18:30- 20:00							084-983-0081		https://www.mammy-t. jp/nurseryschool/ goodlife/
76	医療法人 和同会 広島シー サイド病院	院内 保育園				月～金 (土は月 2回)		7:30- 17:30	-18:30								082-255-1010	
77	医療法人和同会 広島グリーン ヒル病院	ピッコロ 保育園				365日	あり	7:30- 19:30									082-929-1110	
78	医療法人社団 生和会 広島中央ハビリ テーション病院	つば キッズ ハウス				365日	あり	8:00- 19:00				あり (週1回)						https://hirochu-rh- jp/recruit/welfare/

一覧は、女性医師支援センター HP からダウンロードできます。

広島県医師会の保育サポーターバンクの運営を支援

子育て中の医師が仕事と家庭を両立させていくための支援として広島県医師会が運営を開始した保育サポーターバンクの運営について、大学病院内にポスター掲示し、各診療科へ案内を配布したほか、センターのHPへの掲載、各会議での紹介など、子育て中の医師への周知を図った。また、女性医師支援センター長と副センター長が、広島県医師会の「子育て支援事業運営委員会」の委員に就任するなど、事業運営においても緊密に連携している。

子育て中の 医師の方々へ！

広島県医師会 保育サポーターバンク

をご活用ください

保育サポーターバンクとは・・・

- 子育て中の医師が仕事と家庭を両立させていくための支援です。
- 支援内容は、保育サポーターが保育と併せて出来る範囲であれば制限はありません。
(病児・病後児保育や家事支援も、双方の話し合いで合意すれば可能です。)
- 報酬は医師と保育サポーターが話し合って決める2時間の委託契約となります。
- 保育サポーターの支援中は、本会の負担にて「子ども保育保険」、「サポーター保険」が適用されます。

※保育サポーターの皆さんには子育て支援員研修を受講していただきます。

支援の流れ

支援の例

- ☑ 子どもと一緒に医師宅(もしくはサポーター宅)で留守番。
- ☑ 保育園(幼稚園)・習い事や塾への送迎。
- ☑ 遊びにその前後の預かり。
- ☑ 授業の日、当直、急な呼び出しの時の子どもの預かり。
- ☑ 子どもと一緒に留守番をしながら、子どもの食事や簡単な掃除。

お申し込み・お問い合わせ

育児で困ったら、お電話かメールを下さい。広島県医師会は、子育て医師を応援します！男性医師からの相談も受け付けます。

082-568-1511 一般社団法人広島県医師会 保育サポーターバンク

〒732-0057 広島市東区二葉の里3丁目2番3号
sapo-to@hiroshima.med.or.jp

受付 月曜～金曜 10:00～12:00/13:00～17:00

マタニティ白衣・マタニティスクラブ レンタル

平成 29 年 7 月から、マタニティ白衣を女性医師支援センターに備え、利用を希望する女性医師へのレンタルを開始し、令和 3 年 3 月からは、マタニティスクラブのレンタルも開始した。

更に、令和 6 年 11 月からは、要望のあったマタニティジャケットのレンタルも開始した。

マタニティ白衣は学章が入るものと入らないもの 2 通りを用意し、広島大学病院だけでなく、広島県内に勤務する女性医師も着用できるよう配慮している。

令和 7 年度の利用実績については以下のとおりであった。

マタニティ白衣

診療科等名	職 名	貸出期間
腎臓内科	医科診療医	令和 7 年 2 月～ 4 月
脳神経内科	医科診療医	令和 7 年 2 月～ 7 月

マタニティスクラブ

診療科等名	職 名	貸出期間
腎臓内科	医科診療医	令和 7 年 2 月～ 4 月

広島大学病院女性医師支援センター

マタニティ白衣・スクラブ レンタルします

おひとり2枚まで貸し出します
サイズは3種類！

広島県内の医療機関に勤務されている方へ

- 郵送のご希望も受付ます。
- 学章の入らないタイプもご用意しています。

マタニティ白衣等の特徴

- 腹囲を調節できます。
- 臨月まで対応可能
- ダブル仕立てでお腹のふくらみが目立ちません。

受付時間 月～金曜日
8:30～17:15

(S・M・Lサイズあり)
ご試着できます

広島大学病院女性医師支援センター
広島市南区南1-2-3 臨床管理棟2階
(病院経営企画グループ奥の医療政策室内)

☎ **082-257-1576**
内線(6856)

※枚数に限りがありますので、
まずはお電話ください。




5. 復職支援にかかる取り組み

出産・育児等のために、長期にわたって医療現場から離れていた女性医師が、再び診療を行えるようになるまでには、一律の復職支援では十分ではない。復帰する診療科によって必要とされる手技や知識は全く異なるうえ、休んでいた期間の長さ、両親や配偶者の支援がどの程度受けられるか、子どもの健康状態がどうか、などによって、女性医師が必要とする支援は様々である。

広島大学病院においては、診療科ごとに、女性医師の状況に応じて、柔軟な配慮を行うことができるよう、取り組んでおり、日本医師会女性医師支援センターが実施する女性医師の再研修受け入れに、再研修支援施設として登録している。

日本医師会 女性医師バンク

03-3942-6512

初めての方へ

女性医師バンクとは

日本医師会女性医師バンク（以下「女性医師バンク」）は、厚生労働省の指定を受け、今後急増していくと予測される女性医師のライフステージに応じた就業を支援し、医師の確保を図ることを目的として、日本医師会が実施している事業です。

女性医師バンクは、厚生労働省の認可を受けて行う職業紹介事業（厚生労働大臣認可 13-301812）あり、女性医師に関するデータベースを構築するとともに、女性医師の採用を希望する医療機関の情報を集め、女性医師に対して就業希望条件にあった医療機関を紹介し、就業までの間の支援を行うことを目的としております。

また再就業後も、継続して勤務できるよう支援を行うとともに、女性医師にとって、より働きやすい環境の整備も推進してまいります。

女性医師バンクの特徴

- ポイント1** 日本医師会、日本医師会会でない方もご登録いただけます。
- ポイント2** 専任コーディネーターが求職者一人一人の状況に合わせた求人をご紹介いたします。
- ポイント3** 登録料、紹介手数料等費用はすべて無料です。
- ポイント4** 就業先のご紹介も承っております。
- ポイント5** 医療に向けた再就職に必要な方からのご相談もお受けしております。

就活までの流れ

- 仮登録(基本情報)、マイページ発行
- 本登録
- 求職条件の登録
- 求人情報詳細の提供
- 面接・見学
- 内定

6. 効果的支援策の普及活動の実績

(I) キャリア継続・復職・保育に関する支援

(1) 相談窓口、新たな支援要望情報の収集

- ①「広島三本の矢 女性医師支援チーム（広島大学病院女性医師支援センター、広島県医師会、広島県地域保健医療推進機構地域医療支援センター）」による相談窓口について、広島大学病院院内掲示、ニュースレター、広島県医師会報等で周知を行った。
- ②女性医師支援センター ホームページ内に相談受付・回答、目安箱があることを広島大学病院院内掲示、ニュースレター、講演会開催の際のチラシ等で周知を行った。実際に働き方改革関係の相談が寄せられた。

(2) 勤務体制・診療体制の改善につながる取組

医師のワークモチベーションの探索：

研究成果をワーキンググループで討議した。現在解析を追加中のため、今後、学会や広島大学のFDに対応する講演会で発表する。

(3) キャリアに対する理解・意識変革につながる取組

女性医師のワーク・ライフ・バランス、キャリア形成に関する講演会・お茶会の開催：

女性医師等が、病院勤務だけでなく開業や健診業務、介護施設勤務、企業の産業医、行政等、幅広いキャリアの可能性を知ってもらうため、広島県医師会に設置されている女性医師部会との連携により講演会を開催した。女性医師・女子医学生だけでなく、男性医師・男子医学生にも積極的に参加していただき職場全体での理解を図ることができた。また、質問や相談をしやすいお茶会も開催し、女性のみならず男性医師、医学科学生への参加も得た。

男女学生にも積極的に情報を提供し、将来男女に関わりなくキャリア継続に関してお互いが協力できる環境を構築できるよう、現在の問題点や解決策について議論した。

(4) 保育環境改善につながる取組

① Web 会議ツールを駆使したキャリア支援：

これまで対面で行っていたキャリア相談や参集していた会議や講演会等に関し、オンライン／リモートも併用して行った。また、これが全学的に普及するよう推進すると共に、今後対面が増える中でもハイブリッド方式が保たれるよう配慮している。

② 夕方以降・休日の勉強会・研修会等開催時の託児経費補助：

夕方以降・休日の勉強会・研修会等開催時の託児経費補助ができることを周知した。今年度は、休日のカンファレンス開催時の託児経費補助を4回行った。

③ 広島県医師会の子育て支援事業のサポート：

広島県医師会の保育サポーター事業について、利用者の増加を狙い広島大学病院内で広報した。日本医師会の中国四国ブロック会議等でも各県と問題点と好事例について議論を行った。

④保育情報の取りまとめと共有：

広島県下の主要病院および協力病院から院内保育についての情報を収集し、大学病院のホームページに掲載することにより広島県で就業するすべての医師と情報共有した。

⑤小学校の長期休暇期間中および緊急事態に呼応した子どもクラブの開設：

センターホームページ等で周知し、広島大学病院以外でも実施したい施設があれば、ノウハウについて情報を提供する。

Ⅱ) 活躍支援

HUH (Hiroshima University Hospital) 活躍支援助成：

支援助成への申請書を審査し、採択された助成については、受賞者に業績、使途内容等を医学生とのお茶会で発表していただいた。また、受賞者にはご自身の経験や学生に伝えたいことなど、キャリアに関する助言をしていただいた。

Ⅳ) 支援情報の周知、支援ニーズの把握

(1) 広島県女性医師支援総合会議

本会議において周知・共有した支援情報は議事録として提供した。要望については対応を行い翌年の会議で報告、再度議論する。

(2) 女性医師支援センター ホームページの利用

上記の事業の内容、公募、結果、相談回答等はすべてホームページで紹介した。

(3) クリアファイルの配布

センターの存在、活動を周知するためのツールとして、センターの名前、ホームページの URL の入ったクリアファイルを作成しており、講演会やお茶会、各種会議で配布した。



4 本事業からの今後の支援策

今年度は、「女性医療職等の働き方支援事業」における計画をもとに、女性医師への支援を実施してきたところであるが、今後の支援策としては、以下のとおり、継続、発展させていく。

広島大学病院では、今後も柔軟な働き方のしやすい環境整備、休業中の女性医師の復職支援を行い、医師全体の働き方の改革の一助になることを目指す。久留米大学との共同研究『医師のワークモチベーションの探索』の解析結果を、女性医師等支援における時期的・質的方策に盛り込み、今後の支援策に役立てる。

職場の理解にかかる取り組み

(1) 地域の医療機関、関係団体等との連携体制を維持

現在の体制を維持しつつ、広島県ならびに広島県医師会との連携を強化する。

各団体と連携し、医学生へのサポートの拡充を図る。

各種事業を連携して実施するほか、新たな助成事業等の情報を得る。

(2) センター運営会議の定期開催

定期的な開催を継続し、女性医師が必要とする支援について検討する。

(3) 広島県女性医師支援総合会議の開催

年に1回の開催を継続し、関連病院と各診療科の女性医師支援の情報を共有するとともに、医局等に所属する女性医師が、派遣人事の枠外にて関連病院等での勤務が可能となるマッチングを目指す。

相談窓口

「広島三本の矢」女性医師支援チームによる相談事業の拡充

勤務体制、診療体制にかかる取り組み

複数（チーム）主治医制を推進する。

保育にかかる取り組み

関連病院の院内保育園の情報共有、小学生の長期休暇中の学童保育や病児保育の利用料補助等の大学病院内において実施する各種保育事業の周知を図る。

広島県医師会が実施している保育サポーター事業の推進と普及に取り組む。

妊娠中の女性医師のためのマタニティ白衣やマタニティスクラブの貸し出しについて周知を図る。

支援に関する広報

広島大学病院女性医師支援センターの支援や取り組みをより多くの人に広報するため、令和3年度に新規作成したホームページの活用を促進し、より多くの方からの意見を得られるよう工夫する。またこのホームページを通して女性医師支援センターの活動を積極的に周知し、フィードバックを得られるよう設定し、改善点の要望・意見を収集する。

5 外部評価

「令和7年度子育て世代の医療職支援事業」の実施について外部から評価いただくため、事業報告書を送付し、書面での外部評価を受審。

外部評価委員

石田 万里（広島県医師会女性医師部会・部会長／広島修道大学健康科学部健康栄養学科・教授）

全体評価及び講評

近年、日本において医師に占める女性の割合は着実に増加しており、広島大学病院および関連病院においても女性医師数は増加傾向にあります。これは医療界におけるダイバーシティ推進の成果である一方、出産・育児・介護といったライフイベントと専門職としてのキャリア継続をいかに両立させるかという課題を、医療機関全体が構造的に受け止める段階に入っていることを意味しています。

本年度の取り組みは、単なる「女性医師支援」にとどまらず、「子育て世代の医療職支援」というより包括的な視点へと発展している点が高く評価されます。特に、「キャリア」をテーマとした講演会や医学生・医師のお茶会において、男子学生や男性医師の参加を積極的に促し、実際に男性医師が演者・助成対象者として参画していることは、支援の対象を性別で限定しない姿勢を明確に示すものです。

現代社会において、育児や介護は女性のみの課題ではありません。男性医師が育児休業を取得し、家庭責任を担うことは今後さらに一般化していくと考えられます。その意味で、本事業が男性医師にもワーク・ライフ・バランスや多様な働き方についての意識変革を促している点は極めて重要です。女性医師支援は、実質的には医療現場全体の働き方改革の推進であり、男女双方の理解と参画なくしては持続可能な制度とはなり得ないと思います。

また、「広島三本の矢」体制による相談窓口の一元化と迅速なマッチング支援、女性医師採用支援枠やオーダーメイド型復職支援、Webツール活用による柔軟な研修・会議体制の整備などは、制度設計と実務運用の両面において実効性を備えています。特に、各診療科の実情に応じた個別対応やチーム制の導入議論は、画一的制度ではなく「現場に根ざした支援」であることを示しています。今後、支援される側、する側が、さらに活用されることを期待します。

一方で、総合会議で共有されたように、産休・育休中の欠員補充や当直体制の維持など、人的資源の構造的不足という課題は依然として大きく、個別の善意や柔軟対応に依存するだけでは限界があります。今後は、

- ・補充人員確保に関する制度的支援の拡充
- ・チーム医療を前提とした診療体制の再設計
- ・育休取得者を前提とした人員計画モデルの構築

など、より組織的・制度的な対応が必要と考えます。

さらに、支援制度は「ある」だけではなく、「知られている」「利用しやすい」ことが重要です。アンケート結果からも、継続的な意識醸成の必要性が示唆されており、今後は学生・研修医段階からの体系的なキャリア教育として位置付けることが望まれます。

本事業は、

1. 女性医師のキャリア継続支援
2. 男性医師を含む意識変革の推進
3. 医療機関間の連携による地域全体での支援体制構築

という三層構造を備えており、全国的にもモデルとなり得る先進的取り組みと評価できます。

今後は、本取り組みの成果指標（復職率、育休取得率、離職率の推移等）を可視化し、エビデンスに基づくPDCAサイクルをさらに強化することで、より普遍性のある支援モデルへ発展することを期待します。

女性医師支援は、医療界の「多様性の保障」であると同時に、「持続可能な医療体制の基盤整備」です。本年度の活動はその方向性を明確に示しており、今後も性別を超えた医療職全体のキャリア支援へと発展していくことを強く期待します。

令和7年度
子育て世代の医療職支援事業実施報告書
令和8年3月 発行

編集・発行



広島大学病院
女性医師支援センター

〒734-8551 広島市南区霞1-2-3
TEL 082-257-1576 FAX 082-257-1703
URL: <https://hosp-diversity.hiroshima-u.ac.jp/>



(無断複写・転載を禁じます)

Medical Professions'
Universal Support and
Career Development with
Active Teamwork



広島大学病院